837
36
4

夫木和歌抄

九 九

乾 坤

全三十六冊

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

清水濱臣藏書

曹山文庫

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

夫木和歌抄 巻第廿九

帝国図書館蔵書

彭
松　樗
檄　槭採羽　槙
梨　李　杏
椎　栗　櫬
檸　櫻 二九八　妻摩
歡谷木　胡桃
柄　桂
欤　檜
柏　箱
枌 台　合法

根岸信輔氏寄贈

昭和八・十・廿 帝国図書館

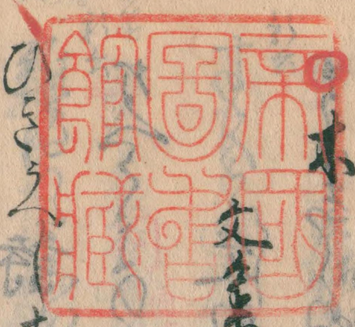
左傳襄三年穆姜使擇美櫃。
木雅疏引作櫃。又左傳註引櫃作櫃

澤瀉六帖云いちごを草
歟よみ入くり

櫻
槐　猪滑
深

そその木　神もりもこそ
もゝ世の木　佐官
すゝ　ゆゝ
櫃 クニ　檜 エノキ
女貞　遠師　樟 クスキ
柿　葉
栗

837-4



首十

木
文全宗百全宗綵柳非る林指枝成老樹
ひさうへ　来この梢よりなそ
　　慕法和尚
　　指領正る句
ひ
ととりなそて来をいひ出るも
　　栗
　　栗本国元正参仏ゆさ
　　敬宝句
なるへうへ来の指をらかの
七字を奥村の句
おの句

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4
ガラス使用

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

皇太后宮大夫俊成

久安百首

すみわびぬ
われやうき身を
よもの海
しほのやくにも
やくとかぞきく

同

皇太后宮大夫俊成

久安百首

いつとなくふりゆくものは
わが身ぞと
なげくこのよをみるにつけても

文永四年毎日一首中

詩

内閣文庫

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

秋末

秋山のたてるもみぢ末のいろ
二百七十首中 三ノ末

染末くいりにそみてもみぢ葉の山里
好忠

秋とだにいふにこころのそまれぬは
百首六十 旋頭歌

あすさへもたつもあやなき霧の海
源重之

歌末

まきもくのゆけのうらこの深のあらの海
千五百番歌合 寄海述懐 従二位家隆卿

やり霧のおのうらこのもりの
遠保四年百首 従二位家隆卿

もりの木のくれなゐ梅に花さきて
遠保四年百首

和平のうら吹風の深くに代へ
平二位入道

ふるさとのこけさへぬるものかたつ
前中納言匡房

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

夜をさむみあさ戸のこやにおきゐつゝけさそ身にしむあきのはつかせ　従覚法師

○松

題不知　人丸

万十二
ひこ山の小松かすゑにあれはこそわかおもふ人にあはすやみなめ

よみ人不知

万二
まきこふるみの松山のひさ松のむすひし心わすれやはせむ

同　人丸

万二
のちみんときみかむすへるいはしろの小松かうれをまたもみんかも

結松歌　有間皇子

万三
いはしろのきしの松か枝をむすひけん人はかへりて又みけんかも

見結松歌　意吉丸

万二
岩代の野中にたてるむすひ松心もとけすむかしおもほゆ

歌合　左中弁大伴家持

万六
やちくさの花はうつろふときはなる松のさえたをわれはむすはな

よみ人しらす

万十
風ふけは浪かちりつゝあらかくてよるの松原さえそまさりく

同
足引の山のあらしにまきのはのまつの松か枝におともまさりつ

万四
まつかたにひとしあらはなにせむに山の小松かうらをまさなく

万十二
そら国のきくの国松ひとゝせのいかにありしそ

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4
ガラス使用

かひなくの松よそこふるきさまの今
えぬ眼のてまきりて
善旨なくとも出るこの代の松
園融院の時はこの殿のみ
ひとよとてそちとせ経ぬる
歌集なき事中
そらふきこの葉のちりけさ
松のまつもみぢ
三首ちすそ申

後拾遺

注性成入道関白

そ申ふかのくの松
遠保三年九月百首
注三位為忠卿
をりかけ山々雲もろさ松のそのちりそん
洞院摂政家百首
もろくりのこふ松の末のまつ風そ
文永五年毎月一首中 殿々御歌
ふるさとの松のみどりそ
遠長七年二月歌合
注三位為忠卿
いさこたえぬ松のまつ

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4
ガラス使用

三鈷松ノコト
大師為造立高野山寺院蒙拂樹木從緑松間輝光明異之有望見往昔元和元年於唐明州津投越三鈷慿松枝誠為密教有縁之地明白也

冬の夜は枕もすくなきものの世の山かけに 雪ふみわけて おきまけける

正治二年毎日百首中

たかの山さえそちとせもくものかかりしよりも松のまよよ

光明院入道二品親王家五十首 寄松祝

正三位行能卿

君か代はをのゝ山のみねの松まつも千とせの月やみるらん

如願法師

契あるそのゝ山のみねの松すゑ万代かけてのちもかはらし

正治二年百首

前大納言忠良卿

つくの山みねの松のちよの代に 君かちよやまもしつめるらん すかたは

歌合寄松

従二位家隆

春の色は松かそのはとむらひての紅葉かするよくちるらん

洞院摂政家百首 雪

後九条内大臣

和哥のうらや浪間の松のみきはよりまそ雪の下にあらはれ 白雪

建保二年和哥所歌合 松経年

従二位家隆卿

神代よりいくよへぬらむ むつかしき山のみねのうへの松

慈鎮和尚

今いくよ世のよそにまつ春をへて久しきものしと松のみさを

家集中

歌ことのみくさの花のうつろひあ

慈円中

なくに月いたくそめのはなりこちふく

文應元年十二社百首

あかすこの日のあくるねぐらの松
たのむかいつるの千とせの一枝に

貞應二年六月名所百首

こちふかばにほひおこせよつくば

同年一字百首 少人忠

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

の中にとまりてうたよめる
前大納言忠家
ちりぬるかたよりさくらの山のまもこのしたかぜにあくるなりけり
皇后宮肥後
さくらちるかたよりさくらの山のまもこのしたかぜにあくるなりけり
春の比院にて花の歌よめる
隆信朝臣
たちのぼるかすみをそれとうちつけにおもひもわかぬ春の山のは
題不知
藤原為家朝臣
ちりぬるをおもふかたよりさくらの山のまもとをくかすみそめけり

ひとくのこのくれの色をあはれとやおもふらむ
花月四首
前中納言定家
ながめこしかたもわすれぬ春の夜のおぼろ月夜の花のあけぼの
ながめやるかたもおぼろに春の夜の月にあまぎる花のあけぼの
雑歌中
みそぎするうの杜はかみかぜをちぎりてかけよ忘れ草つの
遠路二年歌百首の内
光俊朝臣
かくやつくよの森のかしはの杜の風

同

いそやたれ枝イ
　　卯都こ子そ
すしそそちやう
　　或和の清
るおなる
　　津集
　　中納言みこ
　　為家朝臣
ゆき
　　えそ
そのう
　　信実朝臣
　　新古三崎
兄そ
　　お中納言家
あり
　　時弁
おそ

のりくへ地形播磨のよしやれるは法ゆくらす
ありつとらう

西行上人

（朱）玉拾一
松かねのいはたのきしの夕すゝみ君かあれなとおもほゆるかな

此哥は家集にゆのつくる いはたといふ所にて ふかりく
すゝみて京なる西住のもとへつかはしけるとなん

建長八年百首歌合　衣笠内大臣

（朱）岡田路
とふちの松の嵐の音すみてたかいかりもあまくおちなり

（朱）同
従二位行家卿

けふ越のさすか松の緑は見されとくつゝく千代をつきなん

（朱）同
左近中将具氏卿

ゆくせんたてもとぬ浦さのさ地形この松乃さてもちら見

家集　為家

二葉なりしわかさい地形この松乃ちとせは世のためとらひて見ねらん

文永七年毎日一首中　民部卿為家

あつさゆくるとしやうりものゝふのやのく松原河ととりし

（朱）同
文應二年毎月一首中

おもし山松のつく音いかかねとさはりまかすむ程ハ見えけり

光台院入道二品親王五十首　松雪

前中納言定経卿

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

二条院讃岐

なけく庵よをりうちそふなる松の枝の人乃松さつまやかな

建保二年内裏百首　従三位行能卿

ふきのぼる道をさる鹿川にせきとしていつしかは松の風

きよしものはさぞなくむかしのすゑにあらましかは

蓮盛

白浪のゆくゑは浦乃ひとつ松いく世のけふをうちしるらん

日吉國すゑとほさし松の葉に浪よせまさる

家集

あしの浪のよりくる松をよするかとて風もふくとひとはかりの

石まくら松乃ねかたかや　恵慶法師

浪たつかん

うこえてさいの浜ぞ松のちとせとはかりなるよし

与謝人海松院よすることはかりなる

松浦川岸に浪さへすゝしき松の風やせは浪さわぐらん

家集

さゝなみや雲のうらなる松よりもむかしは

家集　みちのくのたふりのえ

参議平朝臣

ひら浪のみの乃松の人まつかとの浪とはいさしらは

千五百番歌合

正三位経家卿

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

ちきりてもとしのさかえん君か代のためしとそこれは

同集祝　　　法性寺入道関白

やきのたもとすつれ君かへんやちよの数にたにそふらなん

正治二年百首　　　後京極摂政

君か代はたかやの山にてらしけるやつをの椿さかへ色こき

千五百番歌合　　　宜秋門院丹後

君か代はたかやの山の岩におふる白玉椿はるもちよへん

天喜三年番房家歌合祝　やちよせつみさき　よみ人しらす

君か代はかつらの井のつきさえてやちよせつらき紅葉まて

永久三年五月大納言家歌合祝

君の代はあまのかく山かみつくにちらかなみてやちよのことつもる

寛治八年十二月従二位親王家歌合

ちよの山いくよよせつくる椿やちよはつくるとも散さらむ

永久三年十二月大納言家歌合祝

君か代はたかしの山の椿くもりなく見るあさしとこそは見ん

新葉集　　　前中納言定家

わくらはにきいつる白椿りさえてたえぬまきの花このみか

六帖題　　　信実朝臣

いやまりのせよに椿つらくれとたえぬよもなきこのみかな

読人不知つらき　　　よみ人しらす

いはのうへにたれてのこるくまの月をあらそふかうかなかん
三條和寺　鴨長明
まひのうえ月のかゝるのうらかせにちてみるかすとたなさろ枝の兒
寛喜二年百首河紅葉　從二位家隆
河そひの波のうけちやそふかつらんはまとかつらのこゝちにかゝり
六條院　前内大臣
新古上
しらくもの梢もれ月のひかりともきてみるく
正治二年百首撰　藤原範光
月もいさよふやまにすまれしもしらぬつゝてしひとつま
新宮撰哥合遠情　泰覚法師
何とてまくこのかねいひすて月のうくいとそうくも
六條院くるゝ　權僧正公朝
かすかのかさいてみかのゆくえを月のひかりとよ
永久四年百首撰　仲実朝臣
玉みかくあふき風の吹のいかうの梢てそふ
同
人しらぬかゝのやまかせのこゝろのすみわたれ　源顕仲朝臣
同
二条右衛門督
瀧山のかゝる月のかけよまたそのとまる
○椛

雨花

[illegible]
うちうちしくうちうちしくうちしくうたひさきのすゑのさきわれ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○撰

あくがれ
あくがれ
みそひさにもなりそ
みそひさにもなりそ
来
雲ゐまで
雲ゐまで
二三の夕べりこそや
建保四年内裏十首会
見そめつる
見そめつる
初恋
初恋
寄雅
寄雅
建長三年毎日一首中
百首哥
寄名所恋
光明峯寺入道
安嘉門院四条
百首哥
嘉元二年竹園千首
寄槙恋
家後内大

建保名所百首

万代雑三

○秋

百首哥合

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

いたりふるさとの枝をきりくらすつゝ
十張百首雑秋
いるりふるの秋村雨
露二首
ふるいなるひゝ雁の文乃枝村雨
左秋文政六年百首合　雨
ふるつゝふるさとの木乃ものやすらふ
百首中　暮秋雨
みるふるの秋乃ふるさと　唐橋
後法性寺入道関白前右大臣　暮秋盛ふ
秋雨

みるの山ふるさとの枝をきりくらす
暮秋　五首中
ふる真
夏
ふるさとる月ふりいつ
秋雨

○擣
暮秋　砧
ふるさとのひゝ遠くて
ふる
ふる百番合
ふるさとのひゝ雁の
ふるさとの枝村雨

西国寺入唐之時
唐の代をまもるとて松のきをそ
遠保四年百首
雑曲娘
をとめ子か白妙よ(ろ)
袂をかへすをの(ろ)
百首出す
そなる前のうらのひてもち
十張百首未
まなくのひてのきこさまひ
お中納言家
ひてのあらそそ

百首出す
ほと(ゝ)きすのひてもいまこ(ろ)
郭公和
中納言家歌
海こ(ろ)のひてもいまこ(ろ)
まこ(ろ)のひてのきよこ(ろ)
郭公和
中納言家歌
洞院摂政家百首
永承
いかにまこ(ろ)
人丸
洞院摂政家百首
三月晦日
三條内大臣
おもひ(ろ)
あこ(ろ)

百首哥　寂蓮法師

雲懸るとをちの山のくさつゝせいはひらしき庵のまはりま哉

万葉 秋哥　中務卿みこ

ことの紅葉のひつしありてせゝ夜よそ秋乃やま風

文永七年毎日一首中　民部卿為家

阿留のかひのくま下葉ちりぬるそのこのこちもさそ秋しくれ

六首中

あしひきのとよせの山もちりぬるにひらくの宮たえみぬまて

○梨

正徹部

西三位衣笠家

時にあひて枝をたはまぬありのみはかなしき物をすこしやのなかにさへし

衣笠内大臣

年ふれはかくしてすみはてゝすのあくぬ秋にし身こそ成けれ

信実朝臣

かくれなはなりもはてなくつらなしのなかりひあへりや知てらくらん

弘長四年毎日一首中　民部卿為家

山里のなしの花さく宮ちりさとの庭そさらに冬こもりせん

建長七年顕朝卿家千首　信実朝臣

こふつまはなほしも越ゆ世中よありなしのみのやさしからぬ

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

○春

永六 日
いふてありひそうへひのもと

日
もろ〳〵の言葉の心を唱て

日
ことのよろこそ〳〵もかくのと

○拍

新古今和

よろこへ

いるとのあるかつて 河内 あれと
なるこ心 日 のこのてうへのみ 日 ねて
天喜二年二月 日 ○ 斎宮歌合 仲文
同
もろ〳〵の唱つりめるわ心 日 ありつるねよろ
天禄三年五月 日 ○ 斎宮歌合
ものうめるうり心のまうへ 日
四番 杜 立中
ちとせのよのてうへのうたひ
和歌所
とのうちかはひくはる心のうたそ

遠保三年四百首歌人々撰
作心のそうゐをみるにしも
秋今中
いそのかみふるたゞざのひまくより
家集くうきこゝろしおりうす女のつれなくあるよ
これとへといふのそうゐのおもて
雑今中
ふるさとゝおもひわすれてかりのやどのめうとのもとゝ
遠保四年内裏四首歌
村雨

注二條院讃岐
家集名のみの月
備前新
ふるさとの
あきはてぬ
寂蓮法師
ふるひのこゝろ
信実朝臣
おもやまのふもとのさとゝなりぬれば
なをありあけの
人こふるころのかりの古里

前大僧正行尊

あさぢふの

風ふくことのしげきのあさぢふは

露もとまらぬ秋ぞきにける

建保四年一百首

家集

同

ふるさとはさびしかりけるあさぢふの

露もとまらぬ秋ぞきにける

文應元年七社百首

かきねよりもるるあさぢの露ばかり

風ふきとまる秋の夕暮

新撰四季百首

前大僧正慈圓

同

かくしのなごりのこすいまもあり

神祇の中に

ひさしくれこのうちにふりぬる神よりも

底ぬく仲房

同

前大僧正行尊

山守は傳志々家十首

ふるさとの花のしるべとなりぬれば

たのまぬ人ぞ枝はをりける

家集

前大僧正慈圓

住吉にやどりのこまをつなぎおきて

寒汐二首百首の中に

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

○猶

猶下河辺

大義名分有歟

永久四年八条宮歌合雪を

春雪

ゆきふかみ谷の中道うづもれて

跡なきのみぞ跡とみえける

西浴二年百首雪

ふりつもる雪の中道うづもれて

跡なきのみぞ跡とみえける

[illegible]
家集 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

栗

○柳

十首 百首本

[illegible]

家集

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○杉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同

おくれゐて恋ふるまさりの涙川

同

袖のうらなみかけてこそいふ

同

あふことをまつほの浦の夕なぎに

家集に書出し

浜千鳥

遠き八年百首寄合

右を中納言家

判者 左衛門督

辞同姿共不決勝負

寄河二年百首寄河

かくれすむ人のありとも

○櫻想

家集に書出し

ゆふ山

同

これそこの名にしおふ

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

巻廿三野出

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同日

佐美社百首奇

家花林院会抗

同五

○櫟

貞享二年百首

○猿滑

同

○櫟

同

○榛

同

同日

○櫟

同

○榛

同

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

○漆 同

これもいのちの身にふぬるでの木めうとぞいへるなり

○もち 同 もちの木乃木

葉のすべ面にのみもつ実

○つき 同

つきのめにかくらふるでの木

辛夷 和名夜未加良之木一云古不之波之加美

○こぶし 同

ちることをいふ

杠谷樹 和名比良木 ひらぐさと訓ずべき名ならん

○ひつき 同

世中にねるつばきともいつきともいふ

唐韻云楓棱 楓棱二音 和名曽波乃木 木也又香木也

○そてふの木 同

ありそてふ今はそてふの木

○柳 同

さいのそてふまゆみ柳すぎ

○こめつき 同

柳ありさいのそてふこめつきといふ

○うそぶの木 同

そこれいの義ぞいふうそぶの木

○榎 同

あそこつぶいもぢ榎あそこつぶ

雷字乱云梗 和名曽波乃木 本也又香木也 和名抄云梗須之毛知乃木

○そてふの木 同

ありそてふ今はそてふの木

○柳 同

さいのそてふまゆみ柳すぎ

○こめつき 同

柳ありさいのそてふこめつきといふ

○うそぶの木 同

そこれいの義ぞいふうそぶの木

○榎 同

あそこつぶいもぢ榎あそこつぶ

椿 和名波岐乃木

○椿 同

あそこつぶいもぢ榎あそこつぶ

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用

○すゑの末
おもふこと（円）
○めぐり（円）
物思のもり（円）
○積（円）
川そこの（円）
○榊（円）
松それか（円）
すゝしのやまとこと（円）

恋の末

山里のうへの紅葉よそに見ん
榊のこかのうへてみん

源仲正

宮内卿

世の中はあくの風吹るみ
○榊

恋の末

あふことのたえてのちこそ
逢ぎ十二年かへ四度
ふるかのかみのうちひそ

たなかみや山もとみくらの本に露乃をきそふかな　修理大夫

露ふかくしけりあへる野の梢これいさまさそらまし錦なりけり　衣笠内大臣

右衛門

新六
山さとのそとものゝ葉乃ちるまゝのにてやまぬよりは松そうちかさし　正三位知家卿

同
同
まはしきこゆるやまのかひはなれてなつとあらしさきつる風のいは原　前中納言為家
（為家イ）

同
志つのめかつくりそふる森かけのとをしき海かける稲つ　光俊朝臣

調伏ノ法ハ北向ニ不動ノ
尊影ヲ安置シ逆ニナヒテ
咒咀スルトナリ

新六
見のなかりさきひはしまんとへなかそらむまきつきしくはの

○あ女こ

あ女こ　同

松そろしやあ女この梢代折られてそまきれもうひつのまりは

○逸師

題不知　よみ人不知

翠ちらのこのいちあいわつりとまちそよりにそふまきなかも

いちし　光明峰寺入道摂政

夫木六
たつたまとこうとてしもふかの人のいちしのなかさすあへて　信実朝臣

六帖題

第六十二
坂ほりこのゆきそやこゑのこる

○樟

ゑふ和

忌
さほのの名のつきみおろくぬさみ
百十二
つくしのおそろの人のくめたも

○人ぬさもち

ゑ拓ゑ

第六十三
たむさたさとろろのくねきり

同
そや海の名くろもろくぬき

同
芙さてもそふくのくぬきり

第六十四
里人のおさきろみそのみくあき

同
なくさてろぬきろもた初ろて

遠くへこそ九月十三夜阪家四条
ありろもろのもの名のみまる

○山茶

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4
ガラス使用

治承九年百首　従二位行家卿

みくのゐやかれふしかれりとこるのこほりつゝ雪ふる

家集　暁対雪　仲忠

河辺すゝ山の嶺道ミえしさりまゝやまふかしきとこめてこゆるゝ（むれゐ）

建仁元年冬のみ千五百番歌合

前中納言忠良卿

津の国の[illegible]の海道ちかくひとすけるひめぬるはまの[illegible]

家集　山家　河辺上　西行上人

宮[illegible]のふるさとの[illegible]の名取ぬひそそむら村河辺

永禄元年毎日一首中　民部卿家

あらし山すゑの嵐乃日もくもしもさゆるけよ[illegible]

治承四年毎日一首中　月

まつ山もんやいとゝ人をまつ山ゆるれかつ雪乃下[illegible]

西[illegible]百首

皇太后宮大夫俊成卿

ミかりするゝのゝ[illegible]よもつゆのそらく[illegible]

あるつ山ゝのま[illegible]よかさゝれて[illegible]まつかのさ[illegible]

御製納言

かし[illegible]よ風とわつかや乃そのかつゝたいうさつにあと[illegible]人

四百五十七首
長哥三首
旋頭哥二
837
36
4
泊洦

国立国会図書館　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4
ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『夫木和歌抄 36巻目録1巻』 請求記号 837-4

ガラス使用